

7月8日（水）「少年時代」

きのう おんがくちょうかい すてき うたごえ
 昨日は音楽朝会で、素敵な歌声を
 き 聞かせてもらいました。朝からとって
 き も ころ あら
 も、いい気持ちでした。「心が洗われる」
 とは、こういうことだと感じました。い
 ろんなつまらないゴミで汚れた心の中
 みな うたごえ そうじ
 を、皆さんの歌声が掃除をしてくれたようでした。



なつまつり よい むね たかな はちがつ ゆめはなび
 夏祭り 宵かがり 胸の高鳴りにあわせて 八月は夢花火
 という詩が「少年時代」には出てきます。ちょっと難しいで
 すね。でも わたし わ しょうねん おな おも
 私には分かります。少年のころに同じ思いをし
 たからです。思い出があるからです。

なつまつ まえ ひ と お
 夏祭りの前の日からワクワクが止まらない、終わってから
 も ドキドキが残っている、夢のように楽しい日が八月にあっ
 たけど、花火のように消えて、がっき はじ
 二学期が始まる……。そん
 き も かんが
 な気持ちのことだと、考えます。

みな たの なつやす ゆめはなび
 皆さんにとって、楽しみな夏休みがもうすぐです。夢花火
 のような思い出ができるといいですね。その思い出は、私の
 ように、なんじゅうねん のこ
 何十年たっても残るものなのです。

村越 新